

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
音楽の世界 The world of Music		1年・2年	前期	金曜日5限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
岡泉志のぶ、石塚将之	本館3F	水・木・金（ただし授業時及び会議時は除く）	授業中に指示します	
授業の概要				
西洋音楽史を中心としてその時代に活躍した作曲家の作品やソリストの演奏を時代背景や人間関係、楽曲のアナライズを含め総合的に学んでいく。人間の歴史と音楽の歴史、人間の趣向と音楽、時代と共に発達し変化していく音楽を様々な方向から講義していく。				
授業の到達目標				
①バロック（ロココ様式）時代から近現代までの西洋音楽の流れを理解することができるようにする。 ②主な作曲家の主要作品に触れ、その構成について理解することができるようにする。 ③音楽の流行りが時代によってどう変わっていったのか、時代と共に変わっていく音楽を理解できるようにする。 ④様々な分野の音楽を聴くことで、背景を踏まえた人間生活に基づいて理解することができるようにする。				
授業の方法				
講義形式ではあるが、映像や音源を用いて「聞く」ではなく「聴く」ことに力を置く。授業によっては実際に楽器に触れて演奏することもある。				
学習の成果				
①音楽に対する興味、関心を高めて、社会人としての音楽的教養を身につけることができる。 ②音楽に親しみ、音楽を楽しむことができ、豊かな感性を養うことができる。 ③時代背景や作曲家の生い立ちを理解することで、自分の生き方や将来についても考えることができる。 ④通常耳にしている音楽がどのような歴史を持ち、また人間と深く関わって存在してきたかを理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス シラバスを参考に授業の進め方や成績評価方法について説明する（岡泉・石塚）			
第2回目	バロック音楽（宗教音楽・オペラ・室内声楽曲）（岡泉）			
第3回目	バロック音楽（単声音楽から多声音楽へ・教会と音楽の関係 カストラート）（石塚）			
第4回目	古典派（作曲家：ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン）①（岡泉）			
第5回目	古典派（作曲家：ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン）②（岡泉）			
第6回目	世界産業の発達と音楽の発達について（楽器としてのピアノの完成）（石塚）			

第7回目	リラックスと音楽（石塚）		
第8回目	ロマン派（オペラと器楽、管弦楽）①（岡泉）		
第9回目	ロマン派（オペラと器楽、管弦楽）②（岡泉）		
第10回目	現代音楽（メディアの変化と様々な作曲技法）（岡泉）		
第11回目	①黄金進行 カノン進行について ②単単作曲法 ループを使って作曲しよう（石塚）		
第12回目	現代音楽（ソリスト プリマ マエストロ）（石塚）		
第13回目	ミュージカルの世界（石塚）		
第14回目	定期試験（岡泉）		
第15回目	まとめ（石塚）		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業にきちんと参加し、授業態度、観賞する態度による評価をする。	
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験	70%	授業の内容から定期試験を実施し、授業で学んだ音楽的教養を把握しているかどうかを判断する。	
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
毎時間プリント資料を配布する。			
履修上の心得・ルール			
MR I（音楽室）は土足厳禁、飲食禁止である。			